



電子機器の小型軽量化に欠かせない多彩な樹脂製品用導電性塗料を展開する老舗塗料メーカー

江戸川合成株式会社

創業85年の老舗塗料メーカーである江戸川合成は、工業用の多様な塗料を開発。塗料の持つ保護・美装・機能性付加という役割で、ものづくりを行う企業を支えてきた。同社の生命線は、ニーズに応じて数々の難問をクリアする、対応力と開発力だ。



埼玉県東松山市にある本社

電子機器や光学機器などの軽薄短小ニーズにともなう樹脂素材の普及で、近年、電磁波やノイズを防ぐ導電塗料の需要が高まっている。工業用特殊塗料メーカーである江戸川合成(株)は、高性能な独自の電磁波シールド塗料を開発。大手カメラメーカーや自動車部品メーカーなどに採用され、工業製品の技術発展を支えている。

同社の強みは、「特注品への対応力」「ニーズに応える創造力」をスローガンに、顧客からの難易度の高い要求にもこたえてきた。「大手メーカーでは対応が難しいような小ロットの特殊塗料を、ゼロベースで開発しています」(篠原幸治社長)

また同社では、半導体製造装置や工作機械向けの塗料も開発。ものづくりの多様なシーンで同社の塗料が活躍しているという。

有名企業も着目する、圧倒的な耐切削油性を持つ下地塗料を開発

創業は1935年(昭和10)。篠原社長の祖父、忠雄氏が東京・渋谷区で塗料・工業薬品の販売を始めた。41年には江戸川区に工場を建設し、セラックニスなどの塗料の製造を開始する。1956年、JIS指定工場の認証を受けた同社は、工業用塗料の製造に着手。背景には、高度経済成長による日本の工業の発展と、それにとまなう工業用塗料業界の発展があった。同社は自社製品をリリースしながら成長を続け、81年には初の下地塗料「エドボーセイ」の開発に成功。

「工作機械、産業用ロボットに使われる金属用のプライマーです。これが工作機械業界との出会いになりました」

汎用性や上塗り適合性が高く、密着力と防錆力に優れた同製品は、40年以上経った今でも販売されるロングセラーとなった。さらに下地塗料では、94年に発売した「エポリートプラサフ」もヒット商品に。これは工作機械メーカーからの依頼で開発した、耐切削油性に優れた塗料だ。

「同製品は現在、複数の工作機



代表取締役
篠原幸治氏



械メーカーに採用されていますが、実は今年に入り、世界的に有名な切削油メーカーからの引き合いもあつたんです。自社の切削油で発生する問題のソリューションがほしいとのこと、当社の塗料に目をつけていただきました」

独自のレシピで 多様な導電性塗料を生み出し 樹脂に電気的な機能を付加

同社は1980年代から、製造機械だけでなく製品向け機能性塗料の開発も進めてきた。主力は導電性塗料「エレアース」シリーズ。用途によって導電性ファイラー（添加物）を変え、「帯電防止」「導電」「電磁波シールド」の3種類で展開している。

1987年に開発したのは、帯電防止塗料の「エレアース」。半導体装置メーカーから依頼を受けて開発したもので、導電性塗料としては他社に先駆けたリリースとなり、同社の名が半導体業界に知れわたるきっかけとなった。

以降、ニーズに合わせて多様な導電性塗料を生み出していった同社は、2011年（平成23）に電磁波

シールド塗料「エレアースEMI 51a」を開発。これは、高い導電性を持つ銀や銅などの導電性ファイラーを使った電磁波シールド塗料で、ノイズ対策に頭を抱えていた顧客からの要望で製品開発したものだ。顧客の要求性能は既存塗料の10倍というケタ違いのものだが、同社は3カ月の開発期間でこれを製品化。開発力と技術力の高さを証明してみせた。

さらに17年には半導体メーカーからの依頼で、透明性に優れた帯電防止塗料「エレアースクリアーEAC」を開発。電子機器の筐体色を損なわず塗装できるため、工程省略やコストダウンに貢献すると期待が寄せられている。

ISO規格をベースに、 技術とノウハウを標準化。 社内改革を進める

創業85年の会社の三代目社長として同社を率いている篠原社長は、「自分の会社のマークが入っている商材が世の中に出ていくのを見たいと思った」ことから、1996年に入社を決意。以後現在まで、自社のさらなる発展を

目指してさまざまな挑戦を続けている。

篠原社長がまず取り組んだのは、ISO規格の取得だった。

「きっかけは、熟練技で当社を支えてきてくれた人材の約60%が、5年以内に定年退職を迎えることに危機感を覚えたからです。それで若手社員を集めてISO職員会を設置し、取得を目指しながら製造技術等の標準化を進めていきました」

2009年、同社はISO9001（品質）と14001（環境）の認証を取得した。社内改革を成功させた篠原社長は、新たな事業展

開にも着手。13年、タイに現地法人を立ち上げ、16年にワックス分散体メーカー（株）ポリコンを子会社化した。

「ポリコンが手がけているのはインキの添加剤なので、当社のいるフィードの少しだけ外側の領域。今後は塗料にこだわるのではなく、『塗材』という広くくりで展開していくつもりです。またタイの現法は、東南アジアやインドへの海外展開の拠点にしたいと考えています。業種、グローバルなマーケット双方で、領域を広げていきたいですね」

約50μmの塗膜に技術と情熱を注いでいるという同社。これからどんな可能性を提示してくれるのか、楽しみである。



本社敷地内にある倉庫

会社概要

- 社長 篠原幸治氏
- 創業 1935年（昭和10）1月
- 設立 1941年（昭和16）
- 資本金 10.5百万円
- 事業内容 特殊塗料・溶剤の生産・開発
- 所在地 〒355-0071 埼玉県東松山市新郷84-2
TEL 0493-26-0781
FAX 0493-26-0786
URL <http://www.edog.co.jp>
- 取引店 埼玉りそな銀行東松山支店